

情報シート:

**Oracleワークロードを
Oracle Cloud
Infrastructureに
移行すべき4つの理由**

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) は、エンタープライズグレードのアプリケーションを、パフォーマンスと可用性に優れ、セキュアなホスティング環境で実行するために構築された次世代パブリッククラウドです。

現在、多くの企業が、1つのクラウドに依存しすぎることを避けるため、マルチクラウドアプローチを検討しています。このアプローチを試す優れた方法が、OracleワークロードのOCIへの移行です。企業にとっては、組織全体にわたるOracleのエンタープライズグレードのプラットフォームとアプリケーションを最高速度で実行し、コストも抑えることが特に重要だからです。

簡単に言えば、OracleはOracle上でこそ優れたパフォーマンスを発揮します。

ただし、ITリーダーシップチームがOCIを最優先に検討すべき理由は他にも数多くあります。

DXC Technologyは、オーストラリアおよびニュージーランド (ANZ) 地域内で、オンプレミスインフラストラクチャを保有するお客様の60%をすでにOCIに移行しています。さまざまなワークロードを移行してきたDXCの豊富な経験により、お客様は移行期間を短縮しながら、総所有コスト (TCO) を削減し、OCIを最大限に活用することで優れたパフォーマンスを達成できます。

OracleワークロードをOCIに移行すべき4つの理由

1 コスト



クラウドの経済性（および企業が達成できる・達成すべきコスト削減）は明らかに魅力的です。しかし現実には、多くのビジネスリーダーが実際のクラウドコストを予測して管理することは難しいと感じています。

最近のIDGの調査では、回答者の40%がパブリッククラウドの最大の課題としてコスト管理を挙げています。¹

OCIサービスの多くは時間単位で計算されるため、企業は必要なときにリソースを拡張し、利用した分のみを支払うことが可能です。OracleのUniversal Creditsプログラムでは、年間コミットメントによるディスカウントも利用できます。

さらに、OCI上でOracleを実行するという観点から見ることで、もう1つメリットが存在します。Oracleのライセンスはどのパブリッククラウドサービスプロバイダーでもそのまま利用できますが、他のハイパースケーラーでOracleを実行する場合は、企業は2倍のライセンスを購入するか、コストを抑えるのであればアプリケーションを実行するコンピューティング能力を減らす必要があります。

OCIであれば、これらのライセンスの課題を解決したうえで、優れたパフォーマンスが提供されます。パフォーマンスレベルを同等以上に保った状態で、TCOを改善することが可能です。

¹ <https://foundryco.com/tools-for-marketers/research-cloud-computing/>

「あるDXCのお客様は、ワークロードをOCIに移行したことで30%のコスト削減を達成しました。またOracleは、オンプレミス向けライセンスを所有しながらOCIに移行するお客様に対して、クラウド利用額の25%分のリワードを提供しています。これもTCOに大きな影響を与える可能性があります」

2 イノベーション



Oracleは2018年に世界初の自律型データベースをリリースしました。このデータベースは、完全な「自動運転」を実現するために設計されており、実行中に自動的に構成、パッチ適用、チューニングが行われます。こうした自動化によるコスト削減は、人件費の削減や人的ミスの減少につながります。

このイノベーションにより、価格モデルも革新的なものとなっています。不必要な支払いや予想外の請求を避けるうえで役立つ無料のツールやレポート、柔軟なコンピュート、ストレージの自動チューニング、最大10倍安いデータエグレス料金などをご利用いただけます。Oracleソフトウェアでは、人工知能（AI）、機械学習（ML）、分析、自律型データベース、自己修復機能など、同様のイノベーションが提供されています。

3 パフォーマンス



OCIは、データベースへのステートフル接続、IOPSが100万を超えるストレージ、CPUまたはGPUによるRAW処理、数ギガバイトのスループットなど、高いパフォーマンスが常に必要とされるアプリケーション向けに設計されています。

Oracleアプリケーションは組織全体を支えています。このためパフォーマンスは最重要事項で、ミリ秒単位の差が積み重なるバッチ処理では、特に重要となります。最適化されても、パフォーマンスが最も重要であることに変わりはありません。最適化されたパフォーマンスが組織全体に行き渡ることによって、コストの削減、効率性の向上、そしてより価値の高い作業への従業員のシフトが可能になります。

4 セキュリティとコンプライアンス



OCIの基本はゼロトラストアーキテクチャです。つまり、テナントが互いに分離されているだけでなく、テナントとOracleも互いに分離されています。多重の防御レイヤーが存在し、最小権限のID/アクセス管理、デフォルトのデータ暗号化、きめ細かなリソース制御とネットワーク制御などが、エッジに至るまで階層化されています。セキュアなアーキテクチャ、テクノロジー、開発、プロセスを組み合わせることで、大半のオンプレミス設備や他のクラウドよりも高いセキュリティを備えた環境を実現しています。さらにOCIは、SOC、ISO、PCI DSS、HIPAA、FedRAMP、IL5、GDPRなど、80種類を超えるグローバル標準や、地域および業界の標準に準拠しています。

OCIへのリフトアンドシフトの事例

DXCは、グローバル企業であるNavitasのOCIへの移行を実現し、1~4時間でサービスを再開しました。

1994年にパースで大学との革新的なパートナーシップモデルを他に先駆けて開発したオーストラリアの企業であるNavitasは、現在世界をリードする教育機関として、オーストラリア、ニュージーランド、北米、ヨーロッパ、アフリカ、アジアなど31か国にわたる130か所以上の大学とキャンパスを結ぶ広範なネットワークを構築しています。

「顧客である私たちから見ても、このプロジェクトは大成功でした。DXCは、当社に提示した推奨案、プロジェクトのプランニング、リソースの手配から最終的な成果物に至るまで、申し分ない働きをしてくれました。私は20年以上もOracleについて精通したエンジニアと数多く仕事をしてきましたが、今回のDXCチームのメンバーには敵わないでしょう。全員がそれぞれの専門分野で卓越した能力を発揮してくれたのです。その努力も、知識豊富なプロフェッショナルとしての対応も、顧客の成功を実現するというDXCのミッションに沿ったものでした」

Ben Dansie氏、Navitas グループ財務システム&プロセス部長



ビジネス上の課題

- ・ オンプレミスの古いOracle E-Business Suite (EBS) ソリューションのサポート終了期限が迫り、アプリケーションのサポートと新機能の利用も限定されている
- ・ テクノロジーの老朽化により、セキュリティ脆弱性のリスクが高まっている
- ・ Navitasのグローバルオフィスでアプリケーションのパフォーマンスが低下する頻度が増加している



DXCのサポート

- ・ Oracle EBSの最新バージョンへのアップグレードとOCIへの移行
- ・ 導入と継続的なサポートを行うマネージドサービスの提供
- ・ 1~4時間でサービスを再開できるフェイルオーバー機能を備えた堅牢なDRソリューションの導入



ビジネス成果

- ・ 特に遠隔地において、パフォーマンスの大幅な向上により高い信頼性を獲得
- ・ ライセンスがさらに延びることにより、運用コストを削減
- ・ アプリケーションやインフラストラクチャの老朽化に伴うリスクを低減

OracleはOracle上でこそ優れたパフォーマンスを発揮します

DXCは、例外的なワークロードでもメインのワークロードでも、最適な移行パスを特定できます。

OCIへの移行計画

OCIに移行するには、ワークロードを、オンプレミスソリューションまたは他のクラウドプロバイダーからOCIに移行する必要があります。

移行の準備にあたっては、長期にわたり社内サーバーで実行されているアプリケーションや、すでにクラウドにある大規模なERPワークロードなど、さまざまなワークロードをOCIに移行した経験が豊富なパートナーと共に作業することをお勧めします。

移行の約80%には既知の移行パスがあります。DXCのようなシステムインテグレーターであれば、実績ある手法、アクセラレーター、テンプレート、クラウドモデリングツールを利用し、業界での豊富な経験を活用することで、例外的なワークロードでもメインのワークロードでも、最適な移行パスを特定できます。

DXCのビジネスインサイト評価プログラム - 実績豊富なOCI移行

お客様が将来のOracleとクラウドのロードマップに最適なアプローチを決定できるように、DXCはビジネスインサイト評価プログラムを作成しました。このプログラムでは、主要な利害関係者を集めて、ビジネスとITの優先事項や、問題点、戦略的ロードマップ、コスト、デリバリモデルを評価します。ビジネスインサイトを通じて、DXCはクラウドのコストと最適化、ライセンス、デリバリモデル、リスク、タイムラインを確認し、組織が節減可能なものは何かを正確に特定するTCO予測を提供します。

DXCは、簡素化、最新化、迅速化、再構想を目的として、独自の手法で次のものを提供します。

- **迅速な展開計画**：組織は価値の高い領域に注力できます
- **ビジネスとテクノロジーのロードマップ**：さまざまな利害関係者に対してプログラムを可視化し、取締役会の承認を得るためのビジネスケースとして利用できます
- **ベストプラクティスに基づいた推奨事項**：展開のタイムラインとシステム導入の成功に影響する要因に重点を置いています
- **明確で簡潔な成果物**：組織がプログラムの実行/中止の決定を下すために役立ちます

DXCが選ばれる理由

DXCのOracleアプリケーションサービスは、Oracleテクノロジーを活用して、さまざまな業界や地域で、ビジネス価値の向上を推進する変革を実現します。35年を超えるOracleの経験を持つDXCが最先端のOracleテクノロジーを利用することで、お客様のデジタルアプリケーションを定義、構築、管理、インテリジェントに自動化して、反復可能な実証済みのプロセスによってお客様のビジネス上の取り組みを加速します。当社は、Oracleのクラウドへの移行を管理して最適化し、シンプルかつローリスクで迅速に変革を成功に導きます。

DXCは、ANZ地域でOracleを手掛ける最大の独立系サービスプロバイダーです。当社が提供する業界テンプレートや標準機能は、数十年にわたって蓄積してきたベストプラクティス、実装、経験に加えて、技術および機能に関して取得してきた知的財産、業界知識に裏打ちされています。このアプローチにより、リスクの低減、より大きなビジネス成果の達成、カスタマーエクスペリエンスの向上が可能になります。長年にわたる確かな導入および運用実績を持つ信頼できるアドバイザーとして、当社はおお客様のビジネス上の優先課題に合致した戦略を実行します。深い専門知識、柔軟な対応や客観的な視点を通じて提供する当社のガイダンスや業界をリードするインサイトにより、お客様はOracleへの投資を超えた、想像以上の成果を実現することが可能です。

DXCのビジネスインサイト評価プログラムと、クラウドへの移行におけるDXCの支援についての詳細は、次の連絡先までお問い合わせください。

jpn_eas_info@dxc.com

[dxc.com/jp/ja/cp/offerings/applications/
EnterpriseApplication and SaaS/oracle](https://dxc.com/jp/ja/cp/offerings/applications/EnterpriseApplication%20and%20SaaS/oracle)

ニュースレターの登録:

connect.dxc.technology/optin_jp



DXC Technologyについて

DXC Technology (NYSE: DXC) は、最新のIT環境への刷新、データアーキテクチャの最適化、パブリック・プライベート・ハイブリッドクラウド全体に渡るスケーラビリティとセキュリティを実現しながら、ミッションクリティカルなシステムを支え、グローバルに広がるお客様のビジネスをご支援します。

DXCは、競争力や業務パフォーマンス、顧客体験価値のさらなる向上といった課題に挑む世界大手企業のお客様の信頼を獲得しています。DXCがどのようにお客様の成功と従業員の成長を実現しているかについてはDXC.comをご覧ください。日本における取組についてはDXC.com/jpをご覧ください。